

森林整備事業の大幅な簡素化

政策提言先 林野庁

政策提言の要旨

森林吸収源対策としての適正な森林管理や、森林資源の有効活用を進めるため、森林整備事業の大幅な制度の簡素化を提言いたします。

【政策提言の具体的内容】

森林整備事業については、制度の大幅な簡素化を図り、地域の実情に応じた使いやすい制度とすることが必要だと考えます。

このため、以下の内容について、提言をいたします。

- ・補助金の定額化による森林所有者の負担の見直しや、複雑な事業実施要件の緩和等、林業者が使いやすい制度への改善。
- ・複雑な事業体系の簡素化による、行政コストの低減。
- ・地域の実情に応じた事業管理費の助成・拡充。
- ・建設業者など新たな事業体参入の促進。

【政策提言の理由】

- ・現在のような複雑な制度で運用管理すると、投下される補助金に比べ、現場の事務手間が過大となっているので、使いやすい制度にすることにより、林業者の意欲の一層の増進が期待できます。
- ・大幅な簡素化を図ることで事務作業が省力化でき、一層の森林整備事業の進捗が期待できます。
- ・一般管理費、諸掛費、現場管理費、手数料等、必要な事業費を地域の実情に応じて、運用することにより森林整備の推進が期待できます。
- ・林業労働力が減少、高齢化しており、建設業などの新たな事業体の参入を促進することが必要だと考えます。